

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

茨城県知事 大井川和彦 殿

提出者

住 所 茨城県猿島郡五霞町川妻1122
キッコーマンソイフーズ株式会社
氏 名 執行役員 茨城工場長 荻生康成
電話番号 0280-84-1331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	キッコーマンソイフーズ株式会社 茨城工場
事業場の所在地	茨城県猿島郡五霞町川妻 1122
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	製品出荷額 10,003 百万円／年 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)
③従業員数	162 人 (令和7年4月1日)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照



（日本工業規格 A 列 4 番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) キッコーマンソイフーズ(株)茨城工場 環境委員会組織図 (ISO14001)			
別紙 2 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	-
	排 出 量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	-
	排 出 量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有効利用できるもの（おから、大豆皮、胚芽、廃プラスチック、金属くず）の分別の徹底 廃プラスチック（紙パック）を紙としての再生促進 安全靴やヘルメットなど業者によるリサイクルに参加		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の分別促進		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,774.00t	-
	(これまでに実施した取組) 乾燥おから、豆皮の販売、生おからの販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,949t	-
	(今後実施する予定の取組) 未定		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

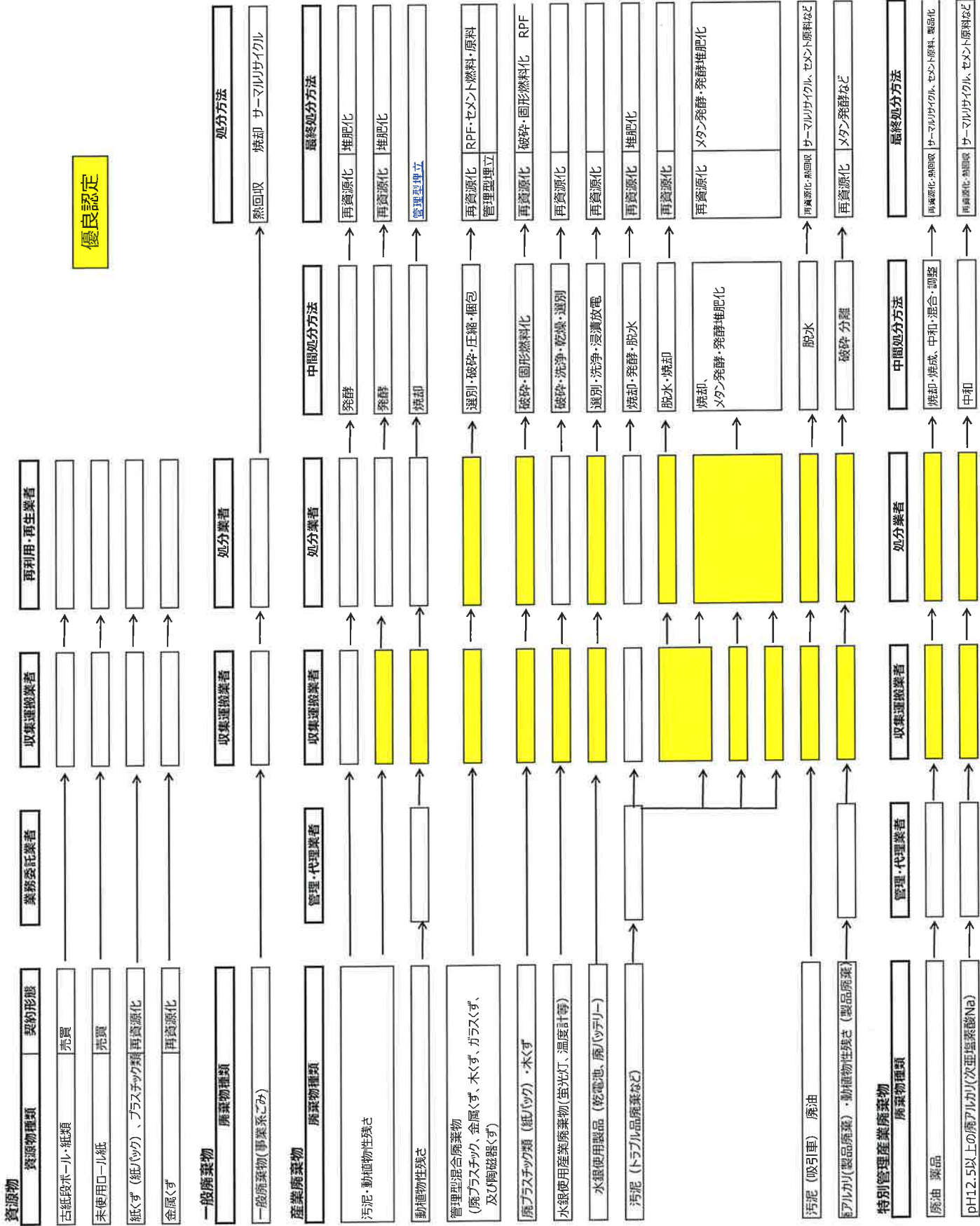
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
	-		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
	-		
納品			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 5 参照	-
	全 処 理 委 託 量	-	-
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	-	-
	再生利用業者への処 理 委 託 量	-	-
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	-	-
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙6 参照	-
	全処理委託量	-	
	優良認定処理業者への 処理委託量	-	-
	再生利用業者への 処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

優良認定



別紙2

フコクマンソフーズ株式会社 茨城工場 マネジメントシステム組織図

工場長

省エネルギー委員会

エネルギー管理統括者

エネルギー管理企画推進者

茨城工場省エネルギー委員会

委員長

エネルギー管理士

各担当

労働安全衛生(OH&S)委員会組織図

は別に定める

トップマネジメント

工場環境委員会

・トップマネジメント

・環境管理責任者

・環境管理チーム

・ISO事務局

食品安全委員会

・トップマネジメント

・食品安全チームリーダー

・食品安全チーム

・ISO事務局

内部監査チーム

ISO14001 FSSC22000 ISO45001

※チームメンバーは内部監査員リストに示す

環境管理責任者

食品安全チームリーダー

環境管理チームメンバー

ISO事務局

食品安全チームメンバー

オブザーバー

第一製造部

第二製造部

前処理G

調合減菌G

充填G

梱包G

工程改善G

環境保全G

品質管理部

業務生産管理部

生産技術G

商品開発部
新事業開発部

FSSC22000適用範囲

納品(計画)

【目標（令和7年度）】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	動植物性残さ	管理型混合 廃棄物	木くず	ガラスくず・コン クリートくず 及び陶磁器くず	廃油	燃えやすい 廃油	—
全処理委託量	1,330t	79.06t	9.05t	3.52t	0.39t	0.48t	0.69t	0.11t	—
優良認定処理業者への 処理委託量	46.39t	79.06t	0	3.52t	0.39t	0.48t	0.69t	0.11t	—
再生利用業者への 処理委託量	1,330 t	79.06t	9.05t	3.52t	0.39t	0.48t	0.69t	0	—
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	—
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	—
(今後実施する予定の取組)									
汚泥の減容。 廃プラスチック（紙パック）の一部を一般廃棄物として処分し、産業廃棄物 廃プラスチックを減らす検討。									